

「子供は寿の宝」を合言葉に、 子供たちの健やかな成長を支援

長野県松本市

活動名

寿地区学校応援団

関係する学校

寿小学校・筑摩野中学校

活動区分		※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
	学校支援地域本部	コーディネーター数 4人	ボランティア登録数 160人	開始年度 21年度	補助の有無 無
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
		実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要

- 平成21年度に、松本市の学校サポート事業に基づき、寿地区学校応援団を組織し、活動をスタートした。「子供は寿の宝」を合言葉に、学校・家庭・地域が一体となって子供の育成につとめている。
- 多彩な地域の力を活用した「地域と共に歩む開かれた学校づくり」と、地域住民の生きがい活動・創造活動としての「特色ある地域づくり」の両推進を目標としている。
- 主な活動
 - ①「学習、クラブ活動支援」・・・地域学習、里山体験学習、しめ縄体験学習、農業体験学習、クラブ活動地域講師など
 - ②「安全安心支援」・・・寿子ども見守り隊など
 - ③「交流事業」・・・地区行事への出演。参加、公民館、福祉ひろばでの地域住民との交流など
 - ④「環境整備支援」・・・施設点検・修理、花壇・農園づくりなど

特徴

【特徴的な活動内容】

- ①公民館・福祉ひろばがコーディネーターとなって、学習活動・地域交流活動・福祉活動・安全活動など、多方面からの学校応援活動を行っている。支援の基本となる学校応援団事業メニュー表による支援に加え、学校や地域の要請に応じた支援活動も行っている。
- ②地区の人材や資源を生かした活動をしている。財産区所有の山で行う里山体験学習や、公民館で活動する団体が学校側に提案して行うクラブ活動支援、地区歴史研究団体による地域学習、近隣福祉施設と行う福祉交流事業などがある。
- ③学校応援団を組織(職名委嘱と一般ボランティアによる)しての支援活動を実施。年1回の総会と学習会を開催している。

【実施に当たっての工夫】

- ①対象校の児童・生徒数が多いが、より多くの子供たちへの支援となるよう、クラス単位ではなく、学年単位での支援を中心とした活動となるよう心がけている。
- ②年度当初に先生と学校応援団員との顔合わせ及び説明会を行い、学校応援団事業について共通理解をした上で活動を行っている。
- ③前年度の活動実績をもとに、学校応援団事業メニュー表を作成し、年間の見通しを持って活動できるようにしている。
- ④学校応援団の総会・学習会を開催し、よりよい支援活動となるようにしている。
- ⑤子供だけでなく、先生たちにも地域を知ってもらおうという趣旨で、先生たちへの地域学習会を行っている。
- ⑥学校応援団ニュースを発行し、地域住民へ活動の周知を行っている。



木彫クラブ(クラブ活動)



林業体験(里山体験学習)

事業を実施して

- 学校にも地域にもメリットのある活動になっている。学習には深み生まれ、地域活動には多くの人が集まり、活性化している。
- 学校内でも、学校外でも、子供たちのあいさつが今まで以上に活発に行われるようになった。
- 受け身的に引き受けていた方々も、子供たちと接することで、いきいきと楽しみながら活動できるようになった。新たな人材発掘としての側面も持つようになった。
- 先生たちも、地域と関わることで、地域を知るようになった。地域連携学習研究部会が発足し、担当の先生がついている。
- 「地域との関係性が薄くなる中で、地域との連携学習をたくさんやっていただいていたありがたい」「見守り隊など、家庭だけでなく地域にも見守られていてありがたい」など、家庭からの感謝の言葉も多くいただけるようになった。

その他

- 松本市学校サポート(学校応援団)事業は、学校・地域・家庭が一体となって子供の育成に取り組むことを趣旨として、公民館がコーディネーターとなり、市内全小中学校を対象として実施している。寿地区学校応援団は、そのモデル的地区として活動してきている。



小学生と中学合唱部の合同発表
(寿さずなの森フェスティバル)